

■ (7) 14版の最終原稿締め切りは夜中の1時すぎ

23. 11. 25-1

原稿の最終の締め切りは、新聞各社とも朝刊(14版)で午前1時頃、夕刊(4版)で午後1時すぎだそうです。「頃、すぎ」というのは、各新聞社の正確な締め切り時間は、それぞれ社外秘になっているからです。13版、3版は、それより1時間以上早くなります。1番早い12版▲の原稿締め切りは午後9時すぎのようです。どの地域にも同じ時刻に新聞を届けるために、遠くの地域ほど原稿の締め切りを早めて、早く印刷するからです。刷り上がった新聞は印刷工場からの距離が近ければ、1~2時間で販売所に届けられますので、私のように4時に朝刊を手にすることができる読者もいます。

なお、夕刊の方が若い数字になっているのは、1日の中で考えると早い時刻に作られるからです。

昼の12時頃に大きな事件・事故が起きた時に、3版と4版の両方を入手すると、第1面がまったく異なる新聞をみることができます。東京本社発行の14版の地域は、23区と多摩地区の一部、川崎市、横浜市の一部で、大阪本社発行では、大阪市や京都市内とその周辺です。

即売についての配送ルートは、即売専門のルートと、販売店ルートの二通りあります。したがって、販売店から届けられる新聞と駅のスタンドの新聞の版が違うこともあります。私は横浜市神奈川区に住んでいるので、宅配は4版ですが、最寄りの東神奈川駅の売店には3版が置かれていたので驚きました。東神奈川駅売店の即売スタンドへの配送ルートが販売店からではなく、即売専門ルートだからです。

(鈴木伸男 全国新聞教育研究協議会顧問)